



潤心啓発

令和7年1月8日
青梅市立泉中学校
学校だより第29号
校長 神田 哲男

泉中 HP <https://www.city.ome.tokyo.jp/school/izumi-j/>



新年に当たって

新春の名にふさわしい穏やかな天候の中で新年を迎え、お正月を過ごすことができました。保護者・地域の皆様、本年も泉中をどうぞよろしくお願いいたします。また、本年が泉中生にとって、皆様方にとって幸多き一年となりますようお祈りしております。本日、始業式を行い無事に3学期をスタートすることができました。

3学期は次のステップへの0学期と呼ばれる準備期間、飛行機で例えると助走期間です。授業を大切に、家庭学習に取り組むなど自身の課題を見つけ目標を立て頑張ってください。次の学年、ステージへと飛び立つための大切な3か月間です。毎日の授業や友人関係を大切に、日頃の給食や清掃などの当番活動など身近なことから頑張るなど、当たり前のことを当たり前にできる集団になりましょう。

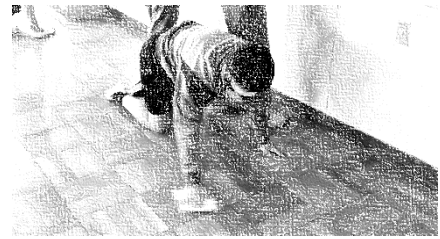
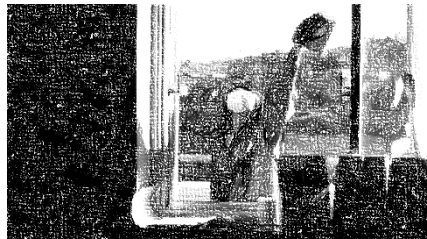
特に3年生は進路開拓に向け、自身の限界に挑む勉強に精を出しています。受験は団体戦ですから、学校全体で良い雰囲気を保ち全員が進路決定するまで頑張りましょう。

「たゆまざる 歩みおそろし カタツムリ」

この句は、長崎県の平和記念公園にある平和記念像を造られた日本を代表する彫刻家の北村西望(せいぼう)さんが詠んだものです。この平和像が完成したのは1955年ですから、もう70年も前のことになります。彼は、この記念像彫刻の制作中、足元にいた一匹のカタツムリを見つけます。半日して、再び彫刻を始めようとすると、なんとそのカタツムリは、10m先の像の頂点に移動していたのです。「一歩一歩の歩みは遅くても、時間をかければ偉業を成し遂げることができる」ということに気づかされます。カタツムリに感動した彼は 102 歳で亡くなるまで、生涯現役とたゆまぬ努力を貫き通しました。私たち泉中生も、自分で決めた目標に向かって地道な努力を続けることができる一年間にしてほしいと願っています。

大掃除 みんな一生懸命にやってくれました。ありがとう！！

12/24(火)生徒全員で大掃除をしてくれました。冷たい水に手を浸しながら絞った雑巾で丁寧に廊下や窓などを一生懸命に掃除してくれている生徒の姿に感動しました。生徒全員の力でとてもきれいになりました。



<泉中生 栄光の軌跡>

【第20回青梅市小中学生の主張大会】 審査員特別賞

【izumipay ジ】 1年生の部 15,398ページ

2年生の部 14,711ページ

3年生の部 15,994ページ

【吹奏楽部】 第10回東京都吹奏楽新人大会 銀賞

青梅市文化奨励賞(第29回日本管楽合奏コンテスト全国大会優秀賞受賞より)

【税の作文】 東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

【日本舞踊】 青梅市伝統文化奨励賞

第20回青梅市小中学生の主張大会 12/7(土)

12/7(土)に S&D たまぐーセンターにて第20回青梅市小中学生の主張大会が開催されました。小学生 1,400 点 中学生 1,110 点の応募の中から小学生は6人、中学生は10人本戦に出場し、そのうちの一人に本校 生徒が選出されました。『「思い出のランドセルギフト」から考えたこと』というテーマでアフガニスタンへのランドセルギフトから世界の貧困問題に触れ堂々と主張し、審査委員特別賞を受賞しました。12/16(月)の全校朝礼では全校生徒に向けても発表してくれました。

僕は今年度中学生になりましたが、父の勤めている会社でジョイセフ「思い出のランドセルギフト」活動のお知らせがあり、僕は活動目的に賛同し、両親と相談して自分のランドセルを寄付することにしました。

僕はジョイセフという団体を今回初めて知りました。ジョイセフはボランティア団体です。主に貧しい国の人々の命や健康を守る団体でこれまでに43の国・地域で支援を行っています。今回、僕が寄付したランドセルはジョイセフを通じて、アフガニスタンの子どもたちに届けられます。また、この活動ではランドセルとあわせて新品に限り学用品も寄付することができるそうです。

アフガニスタンでは、2021年8月にイスラム主義勢力タリバンが政府の全権を掌握したと宣言し、女子の中学、高等教育が停止され、2022年12月にはアフガニスタンの全国の公立と私立の大学で女性が教育を受けることができなくなりました。現在、アフガニスタンの女性の教育は小学校6年間のみとなり、女性が高等教育を受ける機会が閉ざされ、女性の医療従事者や、学校教員が育成されない事態が現実となりつつあるそうです。家族以外の男性に顔や肌を見せることが禁止されているので、医療施設では女性の医療従事者にしか診てもらえない、学校では女性教員の授業しか受けられない女性たちにとっては深刻で致命的な状況です。

「思い出のランドセルギフト」活動で集められたランドセルや学用品は現在、唯一女性に開かれている小学校で寄付することにより、政府や地域住民に対し、女子教育の重要性を伝えるメッセージになるとのことでした。ジョイセフでは2004年から約27万人のアフガニスタンの子どもたちにランドセルを手渡しているそうです。

世界にはアフガニスタンのように国内情勢が不安定な国や、貧困問題を抱えていて子どもが幼い時から労働や家事等を行うため、教育を受けることが難しい国があります。

しっかりとした教育をうけられないまま大人になると文字の読み・書きや計算などができなかつたり、得られる知識が少なくなり道徳心が育ちにくいと思います。また、大人になっても安定した職業につくことや適正な収入を得ることが難しいと思います。

国内情勢の問題や貧困問題はとても根深く、その国の政府の方針の影響があったり、また、他国やボランティア団体の支援も今まで以上に必要だと思うので、大変だと思うけど少しずつでも改善に向かってほしいです。

今回、僕は自分が普通に学校で勉強したり自宅で生活ができていることへ心から感謝しました。自分が安心して過ごせる日々や環境を大切に、これからも学校や自宅で過ごしたいです。それから、勉強や部活も頑張りたいです。今後、僕でもできるボランティア活動などがあったら少しでも力になれるように積極的に取り組みたいです。

2月の主な予定



3(月)朝礼(表彰)・SC 勤務日 5(水)オリパラ講演会 7(金)新入生説明会
8(土)劇と音楽の会(F) 10(月)朝礼(校長)・F 組振替休業日・SC 勤務日・私立一般入試始(3)
12(水)専門委員会 13(木)中央委員会・避難訓練 17(月)朝礼(生徒会)
19(水)定期考査1週間前 21(金)都立一般入試・SC 勤務日
26(水)～28(金)学年末考査 27(木)SC 勤務日 28(金)新入生保護者説明会(F)